

津波について

避難方法

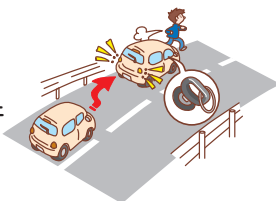
津波発生時の避難方法の基本は次の通りです。

1 原則として徒歩で避難しましょう。

●多くの避難者が一斉に自動車等を使用した場合、渋滞の発生を誘発し、津波に飲み込まれるおそれが高いため、原則として徒歩で避難しましょう。

※徒歩による避難が困難であったり、避難の初動が遅れたりした場合など、やむを得ず自動車等を使用するときは次のことに注意する。

- 家族等可能な限り乗り合いで移動し、渋滞発生の原因とならないよう考慮する。
- 渋滞が発生した場合は、直ちに路肩や道路沿いに駐車し、徒歩で避難する。その際、緊急車両等の通行の妨げとならないよう配慮し、ドアロック等はせず、エンジンキーはつけたままにする。



2 海と反対方向に避難しましょう。

●海と反対方向（高台等）に避難することにより、想定以上の津波があった場合でも更なる避難が可能となります。

3 率先して避難しましょう。

●家族や隣近所に声をかけ、率先して避難しましょう。



4 非常持出品を携帯しましょう。

●携帯可能な範囲で食料品、飲料水、服用している薬など生命の維持に必要なもののほか、携帯ラジオや懐中電灯などを非常持出品として携帯しましょう。



5 命を守る最善の避難方法を選択しましょう。

●上記の避難方法はあくまで基本であり、状況に応じて最善の避難方法を選択し実行しましょう。

避難する際の注意

津波注意報でも、海辺や川べりには近づかないようにしましょう。



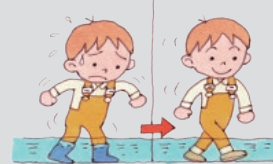
避難対象地域外への避難が間に合わない場合は、緊急避難施設へ避難しましょう。



お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力しましょう。



避難は脱げにくい運動靴で避難する。長靴は水が入ると動きにくくなるので、はかない。



津波は繰り返し襲ってきます。必ずしも第一波が最大とは限りません。少なくとも津波警報が解除されるまで警戒が必要です。



水深が浅くなるほど、津波の高さは高くなります。またV字型の湾では急激に高くなります。



陸上に遡上した津波も早いので、津波を見てからでは逃げられません。



避難の際は非常用持ち出し袋を背負い避難するよう、日頃から備えましょう。

